

昭和56年

第20回（楠本憲吉選）

小学生の部

にじみてきてかりたどうわの本ひらく

福島県 城西小 二年 今泉 真紀

わたくしをすいにとってとぶしゃぼんだま

福島県 城西小 二年 梅宮 真弓

りんどうやたとえば気品という言葉

福島県 城西小 五年 佐藤 美保

大花火終わり星座はひきしまる

福島県 城西小 六年 鈴木 啓之

さらさらとすすきが風と話す音

埼玉県 桶川西小 六年 鈴木 千恵

アザミ咲く絵筆の先の紅に

東京都 窪町小 六年 五十嵐 九未

池のこいS字になっておよぐ秋

富山県 下立小 五年 立花 稔久

先生もきれいに見えるさんかん日

富山県 成美小 六年 松永 真由己

かすみ草どの花よりも風好む

島根県 奥田原小 五年 加藤 美春

コスモスの出迎えうけた始業の日

佐賀県 鍋島小 六年 田代 里美

中学生の部

残雪が夕暮れの山ひき締める

北海道 余市西中 三年 花輪 みつ順

彼岸花今朝気に入らぬ髪のかせ

北海道 虻田中 二年 松本 泰子

遠足の子供も山も野も笑う

山形県 高畠一中 三年 長沢 真由美

立たされて気づいた木木の芽吹かな

福島県 福島四中 一年 三津間 桂

夕焼けに波がつまづく岸の杭

東京都 西新井中 一年 小柴 尚子

田植え待つ田にみちのくの山うつる

東京都 立教中 三年 野村 真一

教室の窓より落花詩を読めば

東京都 大森六中 一年 鈴木 加代子

裏道の風は重たし矢車草

東京都 田園調布中 三年 井口 謙

ひまわりの花咲く岸辺暗き日よ

東京都 普連土学園 二年 薬師川 礼子

制服やさくらがさいて日がさして

福岡県 直方三中 三年 稻生 峯陽